



ご注意

- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約が記載されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこのライセンス契約をお読みください。CD-ROM/フロッピーディスクを開封すると、この契約に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ OMS™および  は、Opcode Systems, Inc.の商標です。
- ・ Adobe、Adobeのロゴ、AcrobatおよびAcrobatのロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- ・ その他、このインストールガイドに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

CD-ROMについて

データの種類

このCD-ROMには、ソフトウェアが入っています。

CD-ROMのソフトウェアを使って、コンピューター上でS90の音色をエディットしたりデータをコンピューターに保存したりすることができます。コンピューターを使って本格的に曲を制作できるSQ01(シーケンサー)も含まれています(Windowsのみ)。

 CD-ROMをオーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。大音量により耳に障害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーが破損する恐れがあります。

データの対応OS(オペレーティングシステム)

このCD-ROMのデータは、WindowsとMacintosh(PowerPC以上)に対応しています。WindowsとMacintoshではデータの内容やインストール方法が異なります。以下、各OSに対応した説明をお読みください。

- Windows → P.2～6、9～10をお読みください
- Macintosh → P.7～10をお読みください

Windowsユーザーの方へ

CD-ROMの内容

アプリケーション(インストーラー)が以下の各フォルダーに納められています。

フォルダー名	ソフト名	内容	
Acroread_	Acrobat Reader ^{*1*2}	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。	
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 98/Me用)	S90とコンピューターをUSB接続で使用する際に必要なドライバーソフトです。	
USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 2000/XP用)		
SQ01_	SQ01 ^{*1}	本格的な音楽制作をお楽しみいただけるシーケンスソフトです。プラグインソフトのホストアプリケーションとしても機能します。デモソング(下記参照)が付いています。	
DemoSong	S90デモソング	SQ01の音源としてS90を使用する際のデモソングデータです(P.6参照)。	
Plug_	Ves90_	Voice Editor for S90 ^{*1*3}	S90のボイス(音色=楽器音)をコンピューター上でエディットすることができます。
	Fu_	File Utility ^{*1}	コンピューターと楽器の間で(バルク)データをやりとりします。フォーマット1のスタンダードMIDIファイルをS90で再生可能なフォーマット0に変換することもできます。
	Aa	Auto Arranger ^{*4}	入力したメロディに対して、曲調と伴奏スタイルを指定するだけで、簡単に伴奏パートを作ることができます。また、あらかじめバックアップパートを作成しておくことで仮想のバンドと合わせてS90を演奏するといった使い方も可能です(別売プラグインボードPLG100-XGを装着しての使用を推奨)。
Remote	Cubase	Cubase用リモートファイル	S90からシーケンスソフトウェアをコントロールするための設定ファイルです(P.5参照)。
	Logic	Logic用リモートファイル	
	Sonar	SONAR/CakewalkProAudio用リモートファイル	

*1 これらのソフトウェアには、電子マニュアル(オンラインヘルプ/PDF)が付いています。PDFマニュアルは、お使いのソフトウェアの[ヘルプ]メニューから[マニュアル]を選択することで開くことができます。

*2 このソフトウェアはヤマハではサポートしません。

*3 ホストアプリケーション(SQ01など)上で(プラグインとして)使用することもできます。

*4 ホストアプリケーション(SQ01など)上で使用するタイプのソフトウェア(プラグインソフトウェア)です。

ソフトウェアの動作環境

NOTE お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

□ SQ01/Voice Editor for S90/File Utility

OS: Windows 98/98SE/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional

コンピューター: 450MHz以上のIntel Pentium/Celeronファミリーのプロセッサを搭載したパーソナルコンピューター。Voice Editor, File Utilityを単独で使う場合は166MHz以上。

メモリー: 64MB以上(128MB以上推奨)。Voice Editor, File Utilityを単独で使う場合は32MB以上。

ハードディスク: 300MB以上の空き容量

NOTE オーディオファイルを使用する場合は、上記以外に十分な空き容量が必要です。

ディスプレイ: 800 x 600ドット以上、65,536色(High Color 16bit)以上

□ USB MIDIドライバー

OS: Windows 98/98SE/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional

コンピューター: USB端子を装備した166MHz以上のIntel Pentium/Celeronファミリーのプロセッサを搭載したパーソナルコンピューター
メモリー: 32MB以上

ハードディスク: 2MB以上の空き容量

NOTE 上記以外のソフトウェアの動作環境は、それぞれのソフトウェアに付属のオンラインマニュアルをご参照ください。

アンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

NOTE ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

ソフトウェアのインストール

Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。

NOTE 本バージョン以前のAcrobat Readerがすでにコンピューターにインストールされている場合は、このバージョンをインストールする前に、前のバージョンのものをアンインストール(P.2参照)してください。

- 1 "Acroread_" フォルダをダブルクリックします。
4種類の言語のフォルダが表示されます。
- 2 "Japanese" フォルダをダブルクリックします。
"ar***jpn.exe" という実行ファイルが表示されます。
(***にはバージョンを示す数字が入ります。)
- 3 "ar* * *jpn.exe" をダブルクリックします。
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。
インストール後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にAcrobatのフォルダが追加されます。
操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

USB MIDI ドライバーのインストール

S90をコンピューターと接続して使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。

USB MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、S90にデータを送信したり、逆にS90からシーケンスソフトなどにデータを受信したりするためのソフトウェアです。

Windows 98/Meをお使いの場合→下記参照

Windows 2000/XPをお使いの場合→右記参照

お使いのCD-ROMドライブのドライブ名(D:, E:, Q:など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中のCD-ROM アイコンの下に表示されています。(CD-ROMドライブのルートディレクトリーはそれぞれ D:¥, E:¥, Q:¥, などになります。)

Windows 98/Meへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 3 S90の電源がOFF(オフ)になっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とS90のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてS90の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。

NOTE Windows Meをお使いの場合は、「適切なドライバーを自動的に検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて[次へ]をクリックします。ドライバーの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順8へお進みください。ドライバーが検出されない場合は、「ドライバーの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROMドライブのルートディレクトリー(D:¥など)を指定してインストールしてください。

- 4 [次へ]をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。
NOTE ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv」ディレクトリー(D:¥USBdrv_¥など)を指定してインストールを続行してください。
NOTE Windows 98の場合、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv」ディレクトリー(D:¥USBdrv_¥)などを直接指定してください。
- 7 CD-ROMの中のドライバーを検出すると、ドライバーをインストールする準備ができた旨のメッセージが表示されます。
「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。
- 8 インストールが終わると、インストールが完了した(ソフトウェアがインストールされた)旨のメッセージが表示されます。
[完了]をクリックします。

NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows 2000にログインします。
- 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK] をクリックします。
- 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 4 S90の電源がOFF(オフ)になっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とS90のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてS90の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。[次へ]をクリックします。
- 5 「デバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

NOTE ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv2k」ディレクトリー(D¥USBdrv2k_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。

[完了]をクリックします。

NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 8 コンピューターを再起動します。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows XPへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
コントロールパネルが「カテゴリーの表示」のときは、画面左の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネル(アイコン)が表示されます。
- 3 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ドライバ署名オプション]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- 5 CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。
- 6 S90の電源がOFF(オフ)になっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とS90のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてS90の電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます。
- 7 ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨) (I)の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。
- 8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします。
NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。
- 9 コンピューターを再起動します。これで、ドライバーのインストールは完了しました。

SQ01のインストール

シーケンサーとしての機能以外に、Voice Editor for S90(プラグインソフト)をインストールし、S90の音色エディターとしての機能を活用することができます。

- 1 "SQ01_" フォルダをダブルクリックします。
"Setup.exe" などのファイルが表示されます。
- 2 "Setup.exe" をダブルクリックします。
SQ01のセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
NOTE シリアル番号は、ユーザー登録カードに記載されておりますので、そちらをご参照ください。
インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。

再起動後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にYAMAHAのフォルダが追加され、その中にSQ01のフォルダが生成されます。

操作についてはオンラインヘルプをご参照ください。

SQ01 MIDI設定

- 1 [スタート]メニューをクリックして[プログラム]→[YAMAHA SQ01]→[SQ01]を選択すると、SQ01が起動します。
- 2 SQ01の[設定]メニューから[MIDI]→[デバイス]を選択すると、MIDIダイアログのデバイス画面が表示されます。
- 3 USB接続したS90を使うためには「出力」欄で、「YAMAHA USB OUT 0-1」をクリックして選択状態(反転表示)にします(ポート1を使用する場合)。
- 4 同様に、「入力」欄で「YAMAHA USB IN 0-1」を選択して、[OK]をクリックします(ポート1を使用する場合)。

NOTE SQ01の[設定]メニューから[オーディオ]→[デバイス]を選択すると、Audioダイアログのデバイス画面が表示されます。必要に応じて、オーディオドライバーやオーディオ入力/出力デバイスの設定をすることができます。

NOTE S90とのUSB接続で送受信できるデータはMIDIデータのみです。オーディオデータは送受信しません。

Voice Editor、File Utility、Auto Arrangerのインストール

S90とコンピューターを接続して、S90の音色をエディットしたり、ファイルを管理したり、入力したメロディに対して伴奏パートをつけたりすることができます。

また、S90 DatabaseをインストールするとSQ01を使用する際に、S90のボイスを表示したりすることができます。

- 1 "Plug_" フォルダをダブルクリックします。
ソフトウェアごとのフォルダが表示されます。
- 2 目的のソフトウェアのフォルダをダブルクリックします。
Ves90_..... Voice Editor for S90, S90 Database
Fu_..... File Utility
Aa_..... Auto Arranger
"Setup.exe" などのファイルが表示されます。
- 3 "Setup.exe" をダブルクリックします。
セットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。
SQ01のフォルダの中に各ソフトが追加されます(SQ01の[プラグイン]/[ビュー]メニューに各プラグインソフトが追加されます)。

NOTE Voice Editor for S90, File Utilityは単独のアプリケーションとしても使用できます。

操作についてはオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

リモートファイルについて

リモートファイルを使用するには、それぞれのソフトウェアがインストールされている必要があります。

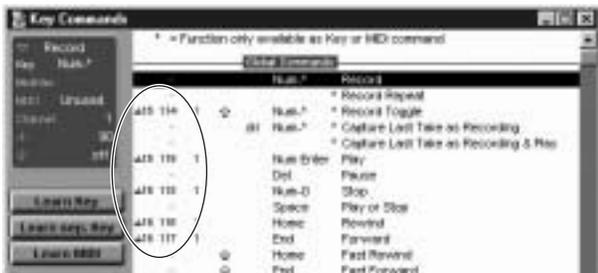
NOTE 設定画面、設定の方法は、バージョンにより異なる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

Cubase用リモートセットアップファイルのインストール

- 1 Cubaseを起動します。
 - 2 メニューバーの[Option]メニュー→[Remote Setup]→[Setup]をクリックします。
 - 3 VST Remote設定画面が開くので次のように設定し、OKボタンを押します。
Remote: Generic Remote
Input: YAMAHA USB INO-3
Output: YAMAHA USB OUTO-3
- NOTE** S90をMIDIで接続する場合は、ポートを「1」に設定してください(例「0-1」)。
- 4 「Generic Remote」という小さなWindow画面が開くので、[EDIT]ボタンをクリックします。
 - 5 「Generic Remote Setup」画面が開くので、右上の[Import]ボタンを押します。
 - 6 ダイアログが開きますので、CD-ROMに同梱されているCubase用のリモートセットアップファイル(Yamaha S90 Remot.xml)を指定し、[open]ボタンを押します。
 - 7 「Generic Remote Setup」画面を閉じます。

Logic用プリファレンスファイルのインストール

- 1 Logicを起動します。
- 2 メニューバーにある[Option]メニュー→[Settings]→[Key Commands...]をクリックします。
- 3 「Key Commands」ウィンドウが開きますので、メニューバーの[Option]メニュー→[Import Key Commands...]をクリックします。
- 4 ダイアログが開きますので、CD-ROMに同梱されているLogic用のプリファレンスファイル(Logic32.prf)を選択し、「開く」をクリックします。
インポートすると以下のように設定されています。



ユーザーがすでに設定したキーコマンドがある場合には、すべて初期化されるので注意してください。もし、ユーザー設定のキーコマンドを変更したくない場合には、上図のようにMIDI ch、CC#などを手動で設定してください。

SONAR/CakewalkProAudio用テンプレートについて(インストール/設定)

- 1 SONAR/CakewalkProAudioがインストールされているフォルダーに、テンプレートをコピーします。
- 2 SONAR/CakewalkProAudioを起動します。
- 3 メニューバーの[オプション(Option)]メニュー→[オーディオ(Audio)]をクリックします。
- 4 Cakewalk DirectShowオーディオ(DirectShow Audio)ダイアログが開くので、AUXモジュール数(Number of Aux Busses)欄の値(初期値は2)を[3]に変更し、[OK]ボタンをクリックします。

これで、テンプレートのための準備ができました。

SONAR/CakewalkProAudio用テンプレートについて(テンプレート読み込み)

- 1 SONAR/CakewalkProAudioを起動します。
- 2 **SONARをお使いの場合:**
メニューバーの[ファイル(File)]メニュー→[開く(Open)]をクリックします。
Cakewalkをお使いの場合:
メニューバーの[ファイル(File)]メニュー→[新規作成]をクリックします。
- 3 **SONARをお使いの場合:**
ファイルを開くダイアログが開くので、ファイルの種類にCakewalkテンプレートファイルを選択し、ダイアログ内のリストからYamaha S90 Synthesizerを選択して、[OK]ボタンをクリックします。
Cakewalkをお使いの場合:
新規作成(New Project File)ダイアログが開くので、ダイアログ内のリストからYamaha S90 Synthesizerを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
テンプレートが読み込まれ、トラックウィンドウ/コントロールウィンドウ/パネルウィンドウの3つのウィンドウが表示されます。
- 4 メニューバーの[Option]メニュー→[MIDI Devices]をクリックします。
- 5 MIDI Portsウィンドウが開くので、InputPorts欄にお使いのMIDIデバイスを割り当てます。

これで、SONAR/CakewalkProAudioをS90からコントロールするための準備ができました。

■トラックの構成をテンプレートの初期値から変更した場合には...

Yamaha S90 Synthesizerのテンプレートを起動した状態で、パネルウィンドウの[CONFIG]ボタンをクリックします。

右側にクラスタが開きます。

[SET MIDI First Track]のつまみをドラッグし、MIDIトラックの最初のトラック番号に合わせます。

- * このテンプレートを使用する場合は、MIDIトラックは1~16まで連続した状態でないとS90から正しくコントロールできません。
- * 無効なトラック(未使用のトラック)に値を合わせてしまった場合、パネル上のつまみやボタン、スライダーが網掛け表示になってしまうことがあります。この場合には正しいトラックに値を設定し直してください。

Pro Toolsソフトウェアについて

S90からPro Toolsソフトウェアをリモートコントロールできます。特別な設定ファイルは不用です。設定方法はMac版と同じです。

「Macintoshユーザーの方へ」の「Pro Toolsソフトウェアについて」(P.9)をご参照ください。

MIDIポートの設定

Voice Editor/File UtilityでMIDIポートを選択する前にMIDI SETUP ツールバーでMIDIポートを設定する必要があります。

- 1 Voice EditorもしくはFile Utilityを起動してください。
- 2 以下のようなMIDI SETUPツールバーが表示されますので、MIDI SETUPボタンを押してください。



MIDI SETUPボタン

- 3 MIDI SETUPボタンを押すと以下のようなMIDI Setupダイアログが表示されますので、S90が接続されているMIDI In/Out/Thruの各ポートを設定してください。

NOTE Voice EditorまたはFile UtilityにおいてMIDIポートを有効にするには、それぞれのアプリケーションの設定ダイアログでMIDIポートを選択する必要があります(上記のMIDI Setupダイアログで設定されたMIDIポートの中からどれを使用するかを選択になります)。設定方法の詳細はそれぞれのアプリケーションのオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

付属シーケンスソフトウェアを使ったデモソングの再生

ファイルの内容

このフォルダー内のファイルは、CD-ROMに収録されているシーケンスソフトウェア用のデモソングデータです。次の手順で、デモソングを聞くことができます。

NOTE 付属のシーケンスソフトウェアについて詳しくはソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

NOTE 付属のデモソングには、お使いの製品に内蔵されているデモソングと同一のものが含まれている場合があります(お使いの製品によってはすべて同一の場合があります)。付属のシーケンスソフトウェアから再生することで、シーケンスソフトウェアのさまざまな機能をご確認いただけます。

操作の流れ

- 1 ソフトウェアの動作環境を確認します(P.2参照)。
- 2 お使いの製品(シンセサイザー/音源など)とコンピューターを接続します(取扱説明書参照)。
- 3 ドライバーをコンピューターにインストールし、必要な設定を行ないます(P.3参照)。
- 4 シーケンスソフトウェアをインストールします(P.4参照)。
- 5 シーケンスソフトウェアを起動し、MIDIに関する設定をします(P.4参照)。
- 6 デモソングファイルをCD-ROMからハードディスクにコピーします。
- 7 シーケンスソフトウェアの[ファイル]メニューから[開く]を選択し、[開く]ダイアログを開きます。
ハードディスクにコピーしたデモソングを選択して、[開く]をクリックすると、新しいトラックビューウィンドウ(シーケンスソフトウェアのオンラインヘルプ参照)が開き、選択したデモソングがいくつかのブロックとして表示されます。
- 8 トランスポートバー(シーケンスソフトウェアのオンラインヘルプ参照)のプレイボタンをクリックすると、デモソングの再生が始まります。

これ以降の操作について詳しくは、シーケンスソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

Macintoshユーザーの方へ

CD-ROMの内容

CD-ROMには[Japanese]と[International]のフォルダーがあります。

日本語版をインストールしますので,[Japanese]フォルダーをダブルクリックして開きます。このフォルダーには、Macintosh用の日本語版アプリケーション(インストーラー)が以下の各フォルダーに分けて納められています。

■ [Japanese]フォルダー

フォルダー名	ソフト名	内容	
Acrobat_	Acrobat Reader ^{*1*2}	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。	
OMS_	Open Music System (OMS) 2.3.3J ^{*1*2}	Mac OS上で音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。	
	OMS Setup for YAMAHA (フォルダー)	ヤマハ(ハードウェア)製品用のOMSセットアップファイルが入っています。	
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI ドライバー	S90とコンピューターをUSB接続で使用する際に必要なドライバーソフトです。	
VEditor_	Voice Editor for S90 ^{*1*3}	S90の音色(ボイス=楽器音)をコンピューター上でエディットすることができます。	
FileUtil_	File Utility ^{*1*3}	コンピューターと楽器の間で(バルク)データをやりとりします。フォーマット1のスタンダードMIDIファイルをS90で再生可能なフォーマット0に変換することもできます。	
Remote	Cubase	Cubase用リモートファイル	S90からシーケンスソフトウェアをコントロールするための設定ファイルです(P.6参照)。
	Logic	Logic用リモートファイル	

*1 上記のソフトウェアには、電子マニュアル(オンラインヘルプ/PDF)が付いています。

*2 このソフトウェアはヤマハではサポートしません。

*3 ヘルプメニューから[マニュアル]/[ヘルプ]を選択することでPDFマニュアルを開くことができます。

ソフトウェアの動作環境

□ Voice Editor for S90

OS: Mac OS 8.6以上Mac OS 9.2.2以下(Mac OS Xは含まず)

コンピューター: PowerPC以上

メモリー: 空きメモリー8MB以上

ハードディスク: 16MB以上

ディスプレイ: 800 x 600ドット 256色以上

OMS: OMS 2.3.3以上(同梱CD-ROMに収録)

□ File Utility

OS: Mac OS 8.0以上Mac OS 9.1以下(Mac OS Xは含まず)

コンピューター: PowerPC以上

メモリー: 空きメモリー6MB以上

ハードディスク: 4MB以上

ディスプレイ: 640 x 480ドット 256色以上

OMS: OMS 2.3.3以上(同梱CD-ROMに収録)

□ USB MIDI Driver

OS: Mac OS 8.6以上Mac OS 9.2.2以下(Mac OS Xは含まず)

コンピューター: PowerPC以上(USB端子を装備したもの)

メモリー: 実装メモリー64MB以上(128MB以上を推奨)

ハードディスク: 2MB以上

OMS: OMS 2.3.3以上(同梱CD-ROMに収録)

NOTE 仮想メモリーは「切」にしてください。

ソフトウェアのインストール

Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。コンピューターにすでに最新のAcrobat Readerがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 "Acrobat_" フォルダをダブルクリックします。
"Japanese Reader Installer" (インストーラー)が表示されます。
- 2 "Japanese Reader Installer" をダブルクリックします。
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
インストールが完了したら、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に"Adobe Acrobat" フォルダが追加されます。
操作についてはヘルプメニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

Open Music System (OMS)のインストール

Mac OS上で複数の音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。コンピューターにすでにOMSがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 "OMS_" フォルダをダブルクリックします。
"Install OMS2.3.3J" (インストーラー)が表示されます。
- 2 "Install OMS2.3.3J" をダブルクリックします。
OMSのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。
NOTE インストール終了時に、以下の内容のメッセージが表示されることがあります。
「アプリケーションを終了することができませんでした。」
このようなメッセージが表示された場合は、ファイルメニューから[終了]を選択してインストーラーを終了し、コンピューターを再起動してください。

再起動後、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に"Opcode"/"OMSアプリケーション" フォルダが追加されます。

- 4 CD-ROM内の"OMS 2.3J Manual.pdf" をドラッグ&ドロップで、"OMSアプリケーション" フォルダにコピーします。
操作についてはこの"OMS 2.3J Manual.pdf" をご参照ください。
- 5 CD-ROMの"OMS Setup for YAMAHA" フォルダを"OMSアプリケーション" フォルダにドラッグ&ドロップでコピーします。
この"OMS Setup for YAMAHA" フォルダには、ヤマハ(ハードウェア)製品用のOMSセットアップファイルが入っています。お持ちの音源のセットアップファイルをテンプレートとしてご使用ください。

OMSの設定についてはVoice Editor for S90マニュアル(PDF)をご参照ください(Voice Editorのヘルプメニューから選択できます)。

USB MIDIドライバーのインストール

S90をコンピューターと接続して使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。

USB MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、S90にMIDIデータを送信したり、逆にS90からシーケンスソフトなどにMIDIデータを受信したりするためのソフトウェアです。

USB MIDIドライバーをインストールする前に、OMSがインストールされている必要があります(上記参照)。また、ドライバーインストール後に、OMSのセットアップが必要になります(Voice Editor for S90 PDFマニュアル参照)。

- 1 「USBdrv」フォルダの「Install USB Driver」のアイコンをダブルクリックします。
インストール画面が表示されます。
- 2 [Install](インストール)をクリックします。
[ソフトウェアインストール後、コンピューターを再起動する必要があります。"Continue" をクリックすると、すべてのアプリケーションが自動的に終了します。]という英語のメッセージが表示されますので、[Continue]をクリックしてください。
NOTE インストールを中止したい場合は、[Cancel]をクリックしてください。
- 3 インストールが開始されます。ソフトウェアがすでにインストールされている場合、インストールは必要ない(No installation was necessary.)旨のメッセージが表示されます。[Quit] (終了)をクリックします。
- 4 インストールが終わると、「インストールは完了しました。コンピューターを再起動する必要があります。」という英語のメッセージが表示されますので、[Restart] (再起動)をクリックしてください。コンピューターが再起動します。
また、「システムフォルダ」の中の以下の場所にそれぞれのファイルがインストールされているのを確認することができます。
[コントロールパネル]:「YAMAHA USB MIDI Patch」
[機能拡張]:「USB YAMAHA MIDI Driver」
[OMS Folder]:「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」

File Utilityのインストール

File Utilityを使ってデータをコンピューターに保存したりすることができます。

- 1 "FileUtil_" フォルダをダブルクリックします。
"File Utilityのインストール" (インストーラー)が表示されます。
- 2 "File Utilityのインストール" をダブルクリックします。File Utilityのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
NOTE インストール先に同じ名前のファイルがある場合、確認を求めるメッセージが表示されます。上書きする場合は[置き換え]を、上書きしない場合は[次へ]をクリックします。

インストール後、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に"YAMAHA Tools" フォルダが追加されます。

操作については"help" フォルダ内の"FileUtility.pdf" をご参照ください。

Voice Editor for S90のインストール

Voice Editorを使ってS90の音色をエディットしたり、音色データをコンピュータに保存したりすることができます。

- 1 "VEditor" フォルダをダブルクリックします。
"S90 Voice Editorのインストール" (インストーラー)が表示されません。
- 2 "S90 Voice Editorのインストール" をダブルクリックします。
Voice Editorのインストールのセットアップダイアログが表示されません。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
インストール後、コンピュータ上(デフォルトではハードディスク上)に"YAMAHA Tools" のフォルダが追加されます。
操作については "Voice Editor for S90" フォルダの中の "VEditor" フォルダにある "S90.pdf" をご参照ください。

リモートファイルについて

リモートファイルを使用するには、各それぞれのソフトウェアがインストールされている必要があります。

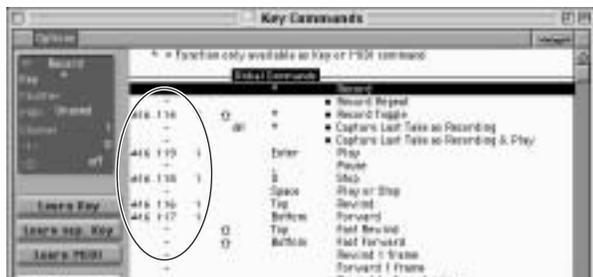
Cubase用リモートセットアップファイルのインストール

Cubaseについては、Windows版と操作手順は同じです。Windows版(P.5)をご参照ください。

Logic用プリファレンスファイルのインストール

- 1 Logicを起動します。
- 2 [Option]メニュー→[Settings]→[Key Commands...]をクリックします。
- 3 「Key Commands」ウィンドウが開きますので、「Key Commands」ウィンドウ内の[Option]メニュー→[Import Key Commands]をクリックします。
- 4 ダイアログが開きますので、CD-ROMに同梱されているLogic用のプリファレンスファイル(Logic Preferences)を選択し、「開く」をクリックします。

インポートすると以下のように設定されています。



ユーザーがすでに設定したキーコマンドがある場合には、すべて初期化されるので注意してください。もし、ユーザー設定のキーコマンドを変更したくない場合には、上図のようにMIDI ch、CC#などを手動で設定してください。

Pro Toolsソフトウェアについて

S90から、Pro Toolsソフトウェアをリモートコントロールすることが可能です(特別な設定ファイルは不用です)。以下の手順で設定します。

- 1 メニューバーにある[Setup]メニュー→[Peripherals...]をクリックします。
- 2 「Peripherals」ウィンドウが開きますので、「MIDI Controllers」ボタンを押します。
「MIDI Controllers」画面で以下のように設定します。

	Type	Receive From	Send to	#ch's
#1	CS-10	YAMAHA USB IN 0-3 (お使いのMIDIデバイス)	YAMAHA USB OUT 0-3 (お使いのMIDIデバイス)	16

NOTE S90をMIDIで接続する場合には、ポートを「1」に設定します(例「0-1」)。

これで、Pro ToolsソフトウェアをS90のMIDI Remote機能でコントロールすることができます。

USBドライバー設定画面について (Windows/Macintosh 共通)

ここでは、コンピュータ側のシーケンサーなどで選択されたポート番号と、S90に実際に送られるポート番号などの関係を変更することができます(S90の場合は初期状態から特に設定を変更する必要はありません)。

ポート番号とS90のMIDI出力端子の関係は、以下のようになっています。また、初期設定では、コンピュータ側と実際に入出力されるポート番号が一致しています。

NOTE もし、設定を変更してMIDI情報を送受信できなくなった時は、以下の初期状態に戻してください。

ポート番号	MIDI出力端子 (Thruポート番号*)	MIDI入力端子 (トラックポート番号)
ポート1	MIDI OUT 1	MIDI IN 1
ポート2	MIDI OUT 2	MIDI IN 2
ポート3	MIDI OUT 3	MIDI IN 3
ポート4	MIDI OUT 4	
ポート5	MIDI OUT 5	
ポート6	MIDI OUT 6	
ポート7	MIDI OUT 7	
ポート8	MIDI OUT 8	

* S90のUTILITY/MIDI/OTHERにある「ThruPort」で設定した値と同じポート番号のMIDI信号が出力されます。

故障かな? と思ったら (Q&A)

● ドライバーがインストールできない

USBケーブルは正しく接続されていますか?

USBケーブルの接続を確認してください(S90取扱説明書)。

一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。

【Windowsの場合】

お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか?

はじめにS90をコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」(P.3)が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

- 1 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

【Windowsの場合】

不明なデバイスが登録されていませんか?

何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、S90が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

- 1 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
- 3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して「削除」をクリックします。
- 4 USBケーブルをS90から抜いて、接続し直します。
- 5 以下、P.3の手順3以降(Windows 98/Me)、P.3の手順4以降(Windows 2000)、P.4の手順6以降(Windows XP)に従って、ドライバーをインストールし直します。

● USB経由でコンピューターよりS90を操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

ドライバーはインストールしましたか(Windows P.3、Macintosh P.8)?

USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(S90取扱説明書)?

音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか?

ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか?

ドライバーは最新のをインストールしましたか?

巻末に記載されているヤマハホームページから最新のドライバーをダウンロードできます。

S90本体のMIDIの入出力の設定がUSBになっていますか?

UTILITY/MIDI/OTHERのMIDI IN/OUTをUSBに設定してください。

● 演奏がもたつく

お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか(Windows P.2、Macintosh P.7)?

他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか?

【Macintoshの場合】

仮想メモリーを「切」にしてください。

AppleTalkを「不使用」にしてください。

● 正常にサスペンド、レジュームができない

MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか?

Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、S90は正常に動作します。)

● ドライバーの削除、再インストールがしたい

【Windows 98/Meの場合】

- 1 S90が正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
- 3 MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。
NOTE ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの「ツール(表示)」メニューから「フォルダオプション」を選択して、「すべてのファイル(とフォルダ)を表示する」に設定しておいてください。
 - ・ ¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥YAMAHAS90.INF
 - ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Xgusb.driv
 - ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Ymidusb.sys
- 4 USBケーブルを抜きます。
- 5 コンピューターを再起動します。
- 6 P.3のドライバーのインストールにしたがって、再インストールします。

【Macintoshの場合】

- 1 以下の場所にインストールされているファイルをそれぞれ削除します。「システムフォルダ」:「コントロールパネル」:「YAMAHA USB MIDI Patch」
「システムフォルダ」:「機能拡張」:「USB YAMAHA MIDI Driver」
「システムフォルダ」:「OMS Folder」:「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」
- 2 コンピューターを再起動します。
- 3 ドライバーのインストール(P.8)およびOMSのセットアップ(Voice Editor for S90 PDF マニュアル参照)をもう一度行ないます。

付属アプリケーションソフトウェアのユーザーサポートサービス

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、アプリケーションソフトウェア(含む付属アプリケーションソフトウェア)をご購入いただいたお客様を登録させていただいております。

つきましては、お手数とは存じますが、製品と同梱しております「ユーザー登録カード」に(シリアルNo.ラベルを貼り付け)必要事項をご記入の上、至急ご返送くださいますようお願い申し上げます。弊社にてお客様の登録を行ない、折り返しユーザーID番号をご案内いたします(ユーザーID番号は、アプリケーションソフトをインストールする際に入力する番号とは異なります)。

このユーザーID番号は弊社が以下のサポートをさせていただく際に必要な番号ですので、大切に保管してください。

ユーザーサポートサービスのご案内

サービスの種類によっては、CD-ROMディスク(以下ディスクと呼びます)の返送が必要になりますが、その際お送りいただいたディスクが弊社製品と確認できない場合、修復のサービスはお受けになれません。あらかじめご了承ください。

[ユーザー登録手続き]を完了された方に限り、以下のサポートを行なわせていただきます。

無償サポートサービスについて

1. ご購入時に正常に動作しないディスクの修復

製品には万全を期しておりますが、万一ディスクに記録されたプログラムなどの内容が、ご購入時にすでに破壊や欠損を起こしていたために正常に動作しない場合、ディスクの内容を修復(交換またはフロッピーによる修復)いたします。下記の「ディスク修復のお申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

- 「ご購入時」とは製品をお求めいただいた日から14日以内とさせていただきます。
- お送りになる前に、お送りいただく旨を、必ず下記の「CBX インフォメーションセンター」まで電話でご連絡ください。

ディスク修復のお申し込み方法

- 1 修復に必要なディスクのほかに、「ユーザー登録用カード」に必要事項(ご住所、お名前、電話番号)をご記入の上、[動作の状態]などを明記した文書をご同封ください。宛先は下記の「CBX インフォメーションセンター」です。
- 2 返送の途中でディスクが破損しないように十分注意して包装してください(返送の途中でディスクが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます)。
- 3 ご返送には、郵便書留か宅配便をご利用ください(宅配便の場合は、着払[弊社負担]をご利用いただけます)。

2. SQ01に関する質問の受付

「ユーザー登録手続き」を完了された方に限り、使用方法や関連情報などについて、電話やお手紙による質問をお受けいたします。下記の「CBXインフォメーションセンター」までお問い合わせください。

お問い合わせの際には、「製品名」、「ユーザーID番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ずご明示ください。また、「ご使用のパソコンの種類」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合は、ご返事できない場合があります。

CBXインフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
ヤマハ(株)CBXインフォメーションセンター
TEL: 053-460-1667

● 受付 日月～金曜日(祝祭日およびセンターの休業日を除く)

● 受付時間 10:00～12:00/13:00～17:00

* ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。

有償サポートサービスについて

1. 有償サポートサービスの内容

お客様が使用中にこのディスクを破損された場合、有償でディスクの内容を購入時と同等に修復(交換またはフロッピーによる修復)いたします。必要事項をご記入の上、手数料(¥5,000:消費税込み)と破損したディスクを添え「有償サポートサービスのお申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

- 有償サポートサービスの受付期間は、お客様が本製品をご購入後、一年以内とさせていただきます。
- お申し込みになる前に、必ずCBXインフォメーションセンターまで電話でご連絡ください。
- ユーザー登録が完了されているお客様へのサービスです。

2. 有償サポートサービスのお申し込み方法

CBXインフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。

このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

- 1 下記の有償サポートサービスの[申込書]に必要事項をきれいに記入の上、手数料とともに、CBXインフォメーションセンターまで現金書留にてお送りください。

*お客様からのCBXインフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。

- 2 ディスクを送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「ユーザーID番号」を明記して、CBXインフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。なお、郵送の途中でディスクが破損しないように、十分注意して包装してください。

*普通郵便などでお送りなられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

*必ずご登録いただいた「ご住所」、「お名前」でお申し込みください。

*お申し込みいただきましたディスク(または修復データを収録したフロッピー)は、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2週間過ぎても製品が届かない場合は、CBXインフォメーションセンターまでご連絡ください。

ディスクの紛失につきましては再発行はいたしかねますので、
あらかじめご了承ください。

<破損ディスクの修復申し込み>

有償サポートサービスの「破損ディスクの修復」の申し込みをされる場合は、下の申込書をコピーしてご使用ください。

TOOLS for S90 : 破損CD-ROM修復申込書		
ご住所	〒□□□-□□□□ フリガナ	都道府県 市区郡
	(マンション等の名称も必ずご記入ください。)	
お名前	フリガナ	ユーザーID番号
電話	市外局番 () - () - ()	
破損ディスク「TOOLS for S90」CD-ROM		

破損ディスクの修復の手料は¥5,000(消費税込み)です。

ユーザーID番号も必ずご記入ください。

住所/氏名の変更(同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」などを変更された場合は、「製品名」、「ユーザーID番号」、「旧住所/旧氏名」、「新住所/新氏名」を明示の上、ご面倒でもCBXインフォメーションセンターまで郵便でご通知ください。折り返し手続き完了のご連絡をさせていただきます。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内)にご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失など)による損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失など)による損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

商品に関するお問い合わせ窓口

商品本体(およびSQ01以外のソフトウェア)に関するお問い合わせ窓口

デジタルインフォメーションセンター
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL (053) 460-1666

付属ソフトウェア「SQ01」に関するお問い合わせ窓口

CBXインフォメーションセンター
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL (053) 460-1667

営業窓口

PA・DMI事業部

PE営業部 MP営業課

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL (053) 460-2432

EM営業統括部

企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488-5430

EM営業統括部 各地区お問い合わせ先

EM北海道

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50(ヤマハセンター)
TEL (011) 512-6113

EM仙台

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10
TEL (022) 222-6147

EM東京

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488-5471

EM名古屋

〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
TEL (052) 201-5199

EM大阪

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)
TEL (06) 6252-5231

EM九州

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2130

●ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

●ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

●「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」

ミュージックイークラブ・ドットコム

<http://www.music-eclub.com>

*名称、住所および電話番号などは変更になる場合がございます。



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。



この取扱説明書はエコバルブ(ECF:無塩素系漂白バルブ)を使用しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

M.D.G., PA・DMI Division, Yamaha Corporation

© 2002 Yamaha Corporation

Printed in Japan

V943800 206MWAP6.2-01A0